

# 宮崎県感染症週報

宮崎県感染症情報センター：宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

## □ 宮崎県第18週の発生動向

・定点医療機関からの報告総数は 973 人（定点あたり 29.2）で、前週比 86%と減少した。前週に比べ増加した主な疾患は水痘と手足口病であった。減少した主な疾患はインフルエンザと感染性胃腸炎であった。

### ★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

#### 【感染性胃腸炎】

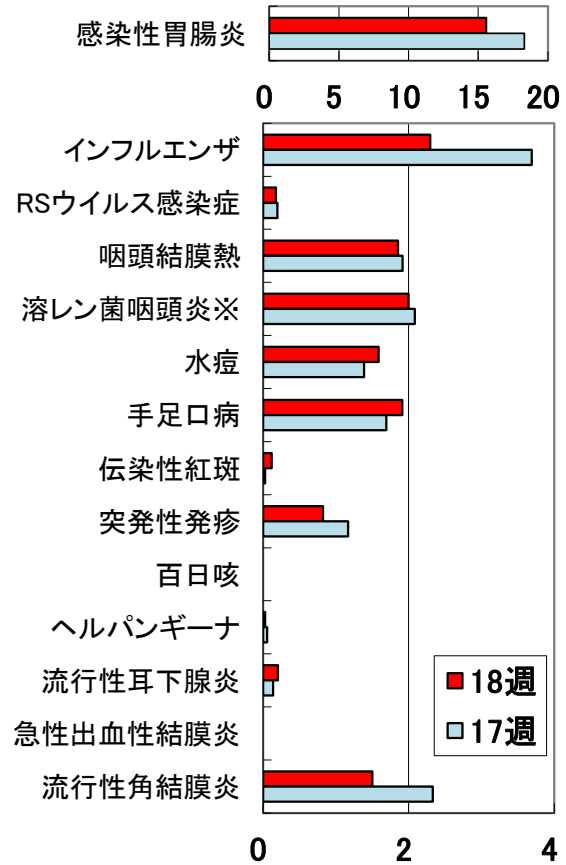
・報告数は 529 人（15.6）で前週比 85%と減少した。例年同時期の定点あたり平均値\*（11.3）の約 1.4 倍である。日南（25.0）、都城（23.2）保健所からの報告が多く、年齢別では 1 歳から 3 歳が全体の約半数を占めた。

#### 【咽頭結膜熱】

・報告数は 63 人（1.9）で前週比 97%とほぼ横ばいであった。例年同時期の定点あたり平均値\*（0.67）の約 2.8 倍であった。中央（9.0）、日南（6.7）、高鍋（3.0）保健所からの報告が多く、年齢別では 1 歳から 2 歳が全体の約 6 割を占めた。

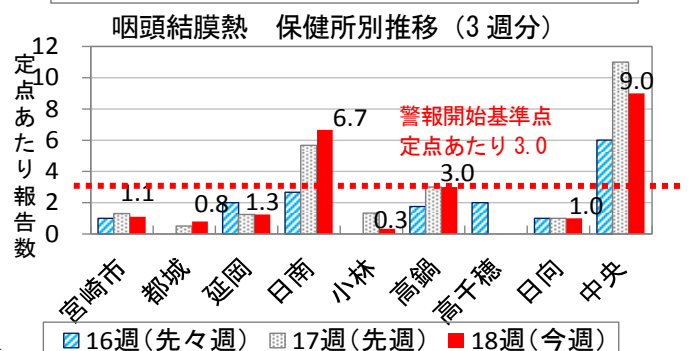
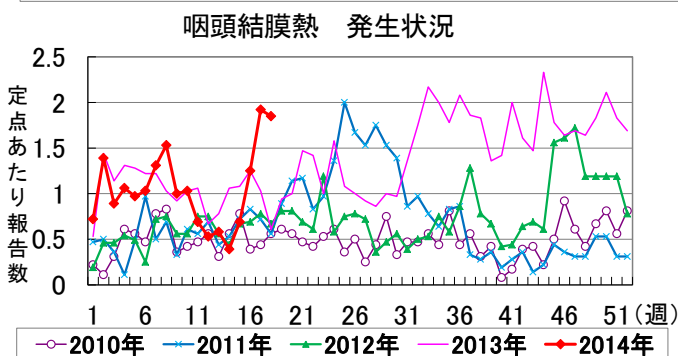
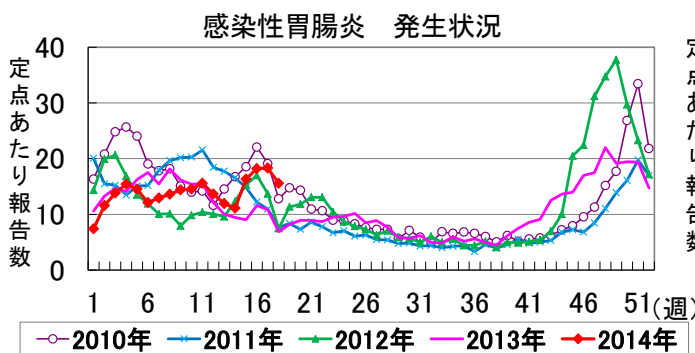
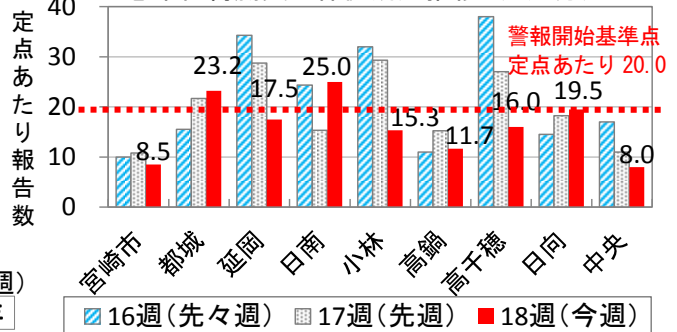
\* 過去 5 年間の当該週、前週、後週（計 15 週）の平均値

## 《前週との比較》



### 定点あたり報告数

※ A群溶血性レンサ球菌咽頭  
感染性胃腸炎 保健所別推移 (3週分)



★基幹定点からの報告★

○感染性胃腸炎（ロタウイルス）：延岡保健所管内から1人、高鍋保健所管内から5人、日向保健所管轄内から2人報告された。患者は11ヶ月、1歳が各1名、2歳が3名、3歳、5歳、8歳が各1名であった。いずれも群別不明。

□ 流行警報レベル開始基準値超過疾患

保健所名	流行警報レベル開始基準値超過疾患
宮崎市	なし
都城	感染性胃腸炎(23.2)
延岡	なし
日南	咽頭結膜熱(6.7)、感染性胃腸炎(25.0)
小林	なし
高鍋	咽頭結膜熱(3.0)
高千穂	なし
日向	なし
中央	咽頭結膜熱(9.0)

※ 流行警報レベル開始基準値※

- ・感染性胃腸炎(20.0)
- ・咽頭結膜熱(3.0)

■ 全数把握対象疾患（18週までに新たに届出のあったもの）

- 1 類感染症： 報告なし。
- 2 類感染症： 結核 2 例。
- 3 類感染症： 腸管出血性大腸菌感染症 1 例。
- 4 類感染症： 報告なし。
- 5 類感染症： アメーバ赤痢 1 例、侵襲性肺炎球菌感染症 1 例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型	症状等
2類	結核	宮崎市	70歳代	女	肺結核	咳
		延岡	70歳代	女	腸結核	なし
3類	腸管出血性大腸菌感染症	小林	10歳代	男	無症状病原体保有者	O128(VT1産生)
5類	アメーバ赤痢	日南	70歳代	男	患者	下痢、粘血便、しぶり腹
	侵襲性肺炎球菌感染症	宮崎市	1歳	女	患者	発熱、嘔吐、痙攣、意識障害、項部硬直、髄膜炎、菌血症

## ■病原体情報（衛生環境研究所微生物部 平成 26 年 5 月 7 日までに検出）

### □ 細菌

同定細菌名	年齢	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	同定日
腸管凝集付着性大腸菌(O127a:H21 aggR)	0~4		2014.4.19	EPEC疑		2014.4.25
EHEC(O128:H2 VT1)	10歳代	男	2014.4.25	無症状	便	2014.5.1
Salmonella Oranienburg (O7:m,t:-)	20歳代	男	2014.4.23	慢性骨髓炎	骨内膿瘍	2014.5.1

○ 慢性骨髓炎を呈した 20 代後半の男性から、*Salmonella* Oranienburg が検出された。サルモネラ感染症は通常①胃腸炎型、②保菌型、③感染巣を持たない菌血症型、④腸チフス型、⑤腸管外局所病変型に分けられるが、⑤のひとつに骨髓炎がある。サルモネラ感染症のうち骨髓炎の発症率は 0.76%と極めてまれである。日本でも起因菌が *S. Oranienburg* であった症例を含め、複数報告はあるものの、正確な発症頻度はわかっていない。サルモネラ骨髓炎は菌血症や胃腸炎の合併も頻度が高く、血液培養や便培養を実施することで確定診断につなげることができる。診断には喫食歴と海外渡航歴の問診をおこなうと共に、背景疾患を確認する必要がある（感染症誌 2003；77：516-520 他）。

### □ ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	検出日
エンテロウイルス71型	3	女	2014.2.10	手足口病、上気道炎、発疹	咽頭ぬぐい液	2014.5.7
エンテロウイルス71型	1	女	2014.3.25	手足口病、口内炎、水疱	咽頭ぬぐい液	2014.5.7

○手足口病と診断された小児 2 名からエンテロウイルス 71 型が分離された。手足口病の原因ウイルスは CA16、CA10、EV71 などのエンテロウイルス属が関与し、毎年流行するウイルスの血清型が変わるのが特徴である。2013 年は全国的に CA6 が多かったが、2014 年は 5 月現在で EV71 が比較的多く分離、検出されている。

## ■全国第 17 週の発生動向

定点医療機関あたりの患者報告総数は 19.4 で、前週比 105%と少し増加した。今週増加した主な疾患は咽頭結膜熱と感染性胃腸炎であった。減少した主な疾患はインフルエンザと RS ウイルス感染症であった。

咽頭結膜熱の報告数は 1,495 人 (0.48) で、前週比 130%と増加した。島根県 (3.1)、宮崎県 (1.9)、富山県 (1.6) からの報告が多く、年齢別では 6 ヶ月～3 歳が全体の約 7 割を占めた。

感染性胃腸炎の報告数は 26,916 人 (8.6) で、前週比 113%と増加した。宮崎県 (18.3)、大分県 (17.4)、福井県 (15.5) からの報告が多く、年齢別では 1 歳～4 歳が全体の約半数を占めた。

### □ 全数把握対象疾患（全国第 17 週）

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	331 例				
3類感染症	細菌性赤痢	1 例	腸管出血性大腸菌感染症	40 例	腸チフス	1 例
4類感染症	E 型肝炎	3 例	A 型肝炎	8 例	重症熱性血小板減少症候群	1 例
	つつが虫病	3 例	デング熱	2 例	日本紅斑熱	1 例
	レジオネラ症	10 例				
5類感染症	アメーバ赤痢	17 例	ウイルス性肝炎	4 例	急性脳炎	3 例
	クロイツフェルト・ヤコブ病	3 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3 例	後天性免疫不全症候群	20 例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2 例	侵襲性肺炎球菌感染症	30 例	梅毒	20 例
	破傷風	1 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1 例	風しん	10 例
	麻しん	10 例				

宮崎県 感染症情報

(70定点医療機関)

2014年 第18週(04月28日～05月04日)

疾病名		第17週	第18週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	214	131	21	30	2	15	52	2		2	7
	定点あたり	3.69	2.30	1.31	3.33	0.29	3.00	10.40	0.40	0.00	0.33	3.50
RSウイルス 感染症	報告数	7	6	1	1				2		2	
	定点あたり	0.19	0.18	0.10	0.20	0.00	0.00	0.00	0.67	0.00	0.50	0.00
咽頭結膜熱	報告数	69	63	11	4	5	20	1	9		4	9
	定点あたり	1.92	1.85	1.10	0.80	1.25	6.67	0.33	3.00	0.00	1.00	9.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	75	68	14	5	16	11		11	3	8	
	定点あたり	2.08	2.00	1.40	1.00	4.00	3.67	0.00	3.67	3.00	2.00	0.00
感染性胃腸炎	報告数	659	529	85	116	70	75	46	35	16	78	8
	定点あたり	18.31	15.56	8.50	23.20	17.50	25.00	15.33	11.67	16.00	19.50	8.00
水痘	報告数	50	54	5	8	15	7	6	6		3	4
	定点あたり	1.39	1.59	0.50	1.60	3.75	2.33	2.00	2.00	0.00	0.75	4.00
手足口病	報告数	61	65	41	1	6	7	2	2		6	
	定点あたり	1.69	1.91	4.10	0.20	1.50	2.33	0.67	0.67	0.00	1.50	0.00
伝染性紅斑	報告数	1	4			4						
	定点あたり	0.03	0.12	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	42	28	12	3	1	3	4	2		3	
	定点あたり	1.17	0.82	1.20	0.60	0.25	1.00	1.33	0.67	0.00	0.75	0.00
百日咳	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	2	1	1								
	定点あたり	0.06	0.03	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	5	7	2		4					1	
	定点あたり	0.14	0.21	0.20	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	14	9	7	1	1						
	定点あたり	2.33	1.50	2.33	0.50	1.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数	1										
	定点あたり	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数	6	8			1			5		2	
	定点あたり	0.86	1.14	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	5.00		2.00	

インフルエンザ定点:57、小児科定点:34(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数  
下段:定点当り報告数

●全数把握対象疾患累積報告数(2014年第1週～18週)

2類感染症	結核	67例(2)				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	7例(1)				
4類感染症	E型肝炎	1例	A型肝炎	15例	重症熱性血小板減少症候群	5例
	つつが虫病	5例	ポツリヌス症	1例	レジオネラ症	1例
5類感染症	アメーバ赤痢	4例(1)	ウイルス性肝炎	2例	急性脳炎	4例
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1例	後天性免疫不全症候群	2例	侵襲性肺炎球菌感染症	4例(1)
	梅毒	5例	破傷風	1例	麻しん	3例

( )内は今週届出分、再掲